



愛知県の弥富市で大変痛ましい事件が起こりました。このような事件が起こるたびに、私たち教師は子どもたち一人一人と、どのように向き合っていくとよいのだろうかと考えます。

南小学校では、月に一度「心のアンケート」を行っています。そのアンケートをもとに、悩みがあるなしに関わらず、一人一人と懇談を行っているところです。このアンケートには、「悩みを相談する人はいますか？」という質問があります。ほとんどの子が「いる」に〇が付いており、家族や先生、友だちなどの選択肢に〇があります。しかし、「いない」に〇が付いている子もいます。アンケートに、困っていることなどが書かれている場合は、その場で直接聞くことができます。何もなければそれでよいのですが、何か困ったことや悩みがあったときに、誰にも相談できず、自分の心の中にしまい込んでしまっているのではないかと心配になります。嫌なことがあったときに、「嫌だ、やめてほしい」と意思表示ができる子もいれば、できない子もいます。私たち大人は、個に応じた対応をすることができますが、子ども同士ではなかなかできないのが現状です。相手の気持ちが考えられず、ひどい言葉を言ったり、手を出したりしてしまうことも少なくありません。学校では全教育活動を通して、相手の気持ちを慮りながら行動することの大切さや、自分からSOSを発信することの大切さなどを継続して学ぶことができるよう考えています。しかし、学校だけでは身に付くことはありません。ご家庭や地域の皆様のお力もお借りし、子どもたちを育てていきたいと願っています。

ご家庭でしか分からない子どものSOSがあります。朝起きてきたときの様子、「おはよう」の挨拶、登校時の「行きます」、下校時の「たいま」、ご飯を食べる量などなど、いつもと違いがないかを気にかけていただき、何かあったら学校へ連絡を入れていただくことで、家庭と学校で連携してお子さんを見守ることができます。学校でも一人一人に寄り添いながら、安心して学校生活を送ることができるよう努力して参ります。

戸崎先生から素敵なプレゼント

3年生から6年生に書写を教えていただいている戸崎先生は、書道家でもあります。この度、先生が書かれた作品をいただきました。

「顔晴れ（がんばれ）」と読みます。

全校の皆が明るい笑顔で頑張ることができるようという願いが込められています。

ランチルーム前の壁に掲げました。階段を下りてくると、この書が正面に見えます。子どもたちの顔が自然に笑顔になります。



自分にできることは何かな。

11月18日に、岐阜大学 地域減災センター 清流の国ぎふ 防災・減災センターの特任准教授 村岡 治道先生をお迎えし、防災教室を開催しました。伊自良地区で気を付けなければならない「大雨や暴風」について、お話をしていただきました。これまで様々な所で起きた、災害の映像や写真を交えた説明を見聞きし、子どもたちは災害の恐ろしさを十分に感じ取り、自分ができることは何かを考えることができました。



授業参観・資源回収へのご協力ありがとうございました

コロナ禍ですが、皆様のご協力のもと11月25日・26日の2日間授業参観を開催することができました。子どもたちの成長した様子を見ていただけたことと思います。

また、27日には、資源回収へのご協力をいただきました。各地区の役員の方には、朝早くからお手伝いいただき誠にありがとうございました。